

自然と一体化する「バイク」とリラックスできる趣味の部屋「ガレージ」

# monomaga



モノマガWEB

特集2

夏の傑作新製品

特集3

暑さ対策2026

# Bike & Garage

モノマガジン特集号

新製品から時代を読む

[www.monomagazine.com](http://www.monomagazine.com)

令和8年6月16日発行・発売(毎月2日・15日発行・発売)  
第45巻第12号・通巻984号 昭和57年11月2日第3種郵便物認可  
モノマガジン masth

2026 NO.984 特別 750円  
定価

7.2



秘密基地で愛車と過ごす至福の時間

# バイクとガレージ



モノマガ編集部がピックアップ!  
いま気になる  
最新バイク

6選

枚挙に暇がない各社のバイクラインナップ。  
買い替え組やライダー予備軍にとっては  
選びたい放題という最高の状況にあるが、  
ここでは新しいモノ好きの人に向けて、  
編集部が厳選した6台の最新モデルを紹介!

文/モノマガジン編集部

## 先鋭的なフォルムとVツインエンジンが余裕のある走りを生み出す

1978年に韓国で設立されたヒヨスンモーターサイクル。2021年に125CCクラスの枠を超えたフルサイズクルーザーのGV125Sを日本第1弾モデルとして発売して以来、圧倒的な存在感を放つ125&250CCクラスのモデルを発売してきた。そんな同社の最新モデルが「GV250X Roadster」だ。

今年3月に開催された東京モーターサイクルショーで初

公開されたGV250XRoadster。一見して真つ先に目を奪われるのは、その先鋭的なフォルムだろう。

ロー&ロングのボバードフォルムをベースに、現代的な感性でデザインされた独創的なアーバンスタイルは軽快でスポーティな走りへの期待感を高めてくれる。

また、街乗りからワンデイングまで快適に楽しめるパワー特性にチューニ

ングされた248・4CCの水冷Vツインエンジンは専用の排気系を採用。Vツインピークを効かせた重厚で心地良いエキゾーストサウンドも所有欲を満たしてくれるだろう。



### HYOSUNG GV250X Roadster

車両本体価格73万1500円

トラクションコントロールシステムやアンチロックブレーキシステムなどの安全装備も充実。カラーは深みのある光沢とマットパーツのコントラストが映える“ナイトブラック”（右）と、光の角度で表情を変える“アイアングレー”（上）の2色展開。



前後シリンダーのバンク角はVツイン特有の鼓動感を生む60°。シリンダーヘッドにはヒヨスンのイニシャル“H”をあしらったメカニカルな美しさと存在感を演出。



◎ヒヨスンモーター・ジャパン  
☎ 045-710-0755